

南京虫 11.1.0

【解説】

「南京虫」は、隠れている虫を探すパズルゲームです。

16×16、全部で256の柵に10匹の南京虫が隠れているので、全て探して潰してください。

柵を調べると、そこに南京虫が隠れていれば潰れます。南京虫が居ない時は、調べた柵を中心にした7×7の範囲に何匹居るかが表示されるので、それを参考にして南京虫を探します。調べる回数は最大50回です。

256の柵を50回調べられるので、盲撃ちでも2匹くらいは潰す事が可能な計算ですが、全て潰すためには頭を使う必要が有ります。50回の試行回数はギリギリなので、全て潰せるかには運の要素も有ります。

このゲームの原形は今から40年以上前に何かの雑誌に載っていた電卓用の物で、詳しい事は忘れてしまいましたが、本来は南京虫ではなく潜水艦を探す物だったように思います。プログラムが簡単なので、その後電卓、PC、オフコン等、色々なマシンに移植してみました。PCやオフコンで作った時は「ネズミ退治」でしたが、Macでは「南京虫」になりました。なぜ「南京虫」かと言う事については、偶然思い付いただけなので特に意味は有りません。（註：南京虫＝トコジラミ＝bedbug）

バージョン11.0.0からUnityで全面的に作り直しました。
画面構成が変わりましたがルールは全く同じです。

【操作】

起動すると自動でゲーム開始します。調べたい柵をクリックしてください。
詳細の説明は画面左下の説明ボタン（？マーク）で表示されます。

【動作環境】

使用するOSによって複数の版が有ります。動作環境や版毎の制限事項については、別に添付している「動作環境について_Unity」というドキュメントを参照してください。

動作にはインターネット接続や他のアプリケーション等のインストールを必要としません。

【インストール】

「南京虫」は、特にインストール作業を必要とはしません。どこからでも起動できるので適当な場所に置いておいてください。不要になった場合も単にファイルを削除するだけで構いません。

起動すると設定や成績記録のためのファイルを作ります。ファイルの場所は動作環境に依存します。

【配布条件】

「南京虫」は、Freeware です。複製・配布は自由ですが、内容の変更等は出来ません。その他、一般的な Freeware のルールに従って下さい。

なお、配付に関しては自由に行って構いません。ネットワークへのアップロードやCD-ROM等への掲載等、どのような媒体に転載する場合でも、作者の承諾は不要です。

【開発環境】

「南京虫」は、Unity2022.3.62f3で作成しています。

【バージョン履歴】

2026.10.15 11.1.0

Unity2022に移行

細かな動作の調整

2025.10.17 11.0.2

Unityのセキュリティ問題（CVE-2025-59489）の対応

2023.06.12 11.0.1

内部処理の調整

2023.04.10 11.0.0

Unity2020で全面作り直し

:

1998.02.01 1.0.0

初版

2026.10.15 竹内 (Macの変人) 喜代志